

日立 GE が原子力技術を学ぶ英国の学生を日本に受け入れ

日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社(取締役社長:武原秀俊/以下、日立 GE)は、英国での原子力建設プロジェクトの一環として、本年6月から3ヶ月間、英国で原子力技術を学ぶ大学生5名を、日立 GE の原子力生産本部(茨城県日立市)に、インターンシップ(職場体験実習)生として受け入れます。学生たちは、インターンシップの期間中、原子力発電事業に携わる設計チームとともに業務を体験する予定です。

日立 GE では、昨年度から英国で原子力技術を学ぶ大学生をインターン生として受け入れており、今年度は、日立 GE と共同研究を行っているバンガー大学(北ウェールズ)、ケンブリッジ大学、ブリストル大学、バーミンガム大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、マンチェスター大学から選抜されました。インターン生たちは、就業体験のほか、国内の原子力発電所の訪問や日本文化を体験するための研修などにも参加します。

■インターンシップに参加するバンガー大学3年生、イラン・デイヴィス(Ilan Davies)さんのコメント

このインターンシップに応募したのは、原子力産業に関する知識と経験を深めるためです。日本での3カ月間のインターンシップは、楽しみでもあり、不安でもありますが、インターンシップ期間中にできる限りのことをやり遂げ、あらゆるチャンスをしっかりつかみたいと思っています。

■日立 GE ニュークリア・エナジー取締役社長 武原秀俊のコメント

大学生の皆さんの来日を心から歓迎します。日立 GE と英国の各大学との共同研究は、新たな原子力施設の開発に不可欠なものです。日立 GE が英国の各大学で定期的開催している ABWR セミナーは、原子力技術への理解を広げており、廃棄物管理、水化学、監視システムを対象とする共同研究プログラムも展開されています。3ヶ月間の職場体験を実りのあるものにしていただくよう、私たちがサポートしていきます。

■日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社について

日立 GE は、2007年7月に株式会社日立製作所と GE の合弁会社として設立された、原子炉関連設備の開発、計画、設計、製造、検査、据付、試運転、保全サービス、およびこれを統括するプロジェクトマネジメントを一貫して実施する体制を持つ世界トップクラスの総合プラントメーカーです。これまで建設中も含めて国内で23基の実績があります。この中で、とりわけ、最新の改良型沸騰水型軽水炉(ABWR)については全ての ABWR プラントに参画(国内運転開始済4基、国内建設中3基)しています。海外では、台湾地域の龍門原子力発電所向けに、主要な原子炉設備を納入しています。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
